

令和5年度 第3回西伊豆町子ども・子育て会議（議事録）

- 1 開催日：令和6年2月7日（水） 13：30～15：00
- 2 場 所：西伊豆町保健センター2階会議室
- 3 出席者：カトウ悠名委員、花田麻莉子委員、藤井美貴委員、佐久間佳子委員
山本美生委員（園長）、齋藤雅子委員（園長）、山本昭代委員（副会長）
山本憶久委員（会長）、浅賀真由美委員、近藤百子委員
星野町長（オブザーバー）、株ぎょうせい見山研究員（オブザーバー）
【事務局 朝倉通彰 萩原宏実】

■会 長：それでは議事の方に入らせていただきます。議事についてはスムーズに行い、1時間半程度を目安に進めて行ければと思っております。御協力の程、よろしくお願いいたします。

議題(1)「放課後児童クラブの利用調査結果ついて」事務局より説明をお願いいたします。なお、議事毎に質問の時間を設けますのでよろしくお願いいたします。

■萩 原：議題(1)「放課後児童クラブ利用調査結果について」御説明させていただきます。お手元資料1-1を御確認ください。前回の会議にて御説明させていただきました通り、現在仁科小学校に開設されている児童クラブの利用について、教育委員会から現在の賀茂小・田子小5年生以下及び伊豆海認定こども園の5歳児の保護者向けに本資料に記載しています中段、設問1～設問3までのニーズ調査を行いました。

設問の概略ですが、「スクールバスで送迎がある場合、放課後児童クラブを利用するか」というものになっております。

設問1は「長期休暇中にスクールバスで送り迎えがある場合の利用希望の有無」

設問2は「長期休暇中に宇久須からの送りのみがある場合の利用希望の有無」

3番の設問については「平日の放課後に宇久須からの送りのみがあった場合の利用希望の有無。」としてありました。

調査の結果ですが、設問1の長期休暇中に送迎がある場合の利用希望で全調査数が66名ありまして回答数が54人で81%の方から回答があったところで、仁科小へのスクールバスの送り迎えがある場合の利用を希望する方が18名、33%ありました。従いまして事務局の案としましては、この資料の最下部ですけれども長期休暇中にスクールバスで送迎を行い、賀茂小の校区の児童も仁科小のクラブを利用出来るようにしたいと考えております。送迎の時間ですが、アンケート調査時に宇久須を8時発、仁科を17時発としてお示ししたところ、この回答数で利用した

いということがありましたので、この時間で実施したいなと思っております。その他の各学校の利用するしないについては表でお示しさせていただいているところになりますので説明の方はすいませんが割愛させていただきたいと思います。事務局からの説明は以上です。

■会 長：はい、ありがとうございます。ただ今の議題について御意見・御質問を承りたいと思います。如何でしょうか。

■萩 原：児童クラブはどういうものかっていうのが前回、ちょっと宇久須・安良里地区の方はちょっとあまり馴染みがないよ、ということで、アンケート調査時に概要をお知らせした方が良いよという意見がありまして、今回、今の1-1の裏に児童クラブってどういうことをしているかを書いてあるんですけど、書き出しの部分がクラブの運営方針、実施目的になっています。補足の説明になります。もし事務局案で賛成ですよということをまたこの後、確認させていただいてよろしければこの利用者募集をそれに沿ったかたちで作り替えて行きながら事務の方を進めさせていただければと思っております。

■〇〇委員：設問3については全体の利用したい方のパーセンテージが8%なのでそこは対応案として出ていないということですね。

■萩 原：そうですね。平日の放課後にスクールバスで仁科小の送りのみをやった場合。

■〇〇委員：考え方を変えると「伊豆海の方だけ利用する」が居て、そうすると7分の4になる。そういう意見もあるんですかね。(少し時間をおいて)少数意見は仕方ないかなということですね。

■萩 原：毎日4名使うのかってところもたぶんでて来るか

■〇〇委員：あー

■萩 原：と思ひまして、その辺もちょっと伺いたいなと思ったんですけど。この日に例えば「1人しか行かないよ。」じゃあそのスクールバスを1台出すのかというところで。

■〇〇委員：それと関連しているか分からないですけど、今までの児童クラブの申込みについては、とりあえず申し込みをしておかないと途中で行きたくなかった時に行けないのかなっていうのがありましたけど、これも同じような考え方ですか。結局、申込みをしてあるけど1回も来なかったとかという方が居るんですね。それを聞くととりあえず申し込みをしておかないといつ希望した時に利用が出来ないということでしたけど、それも同じような考え方なんですか。先ほど、その4人の方が毎日じゃないかも知れないけど夏休みだけ、それはそれで意義があることなのかなと思います。

- 〇〇委員：当日の当日じゃダメ？
- 萩 原：当日の当日だと支援員さんが実際・・・
- 〇〇委員：スクールバスになると当日の当日だと乗せること、、、どういうふうに乗せて誰かが付くのか。今までのほら、ここのバスを使用した時には支援員が迎えに行っていましたので「今日は誰だれが来る。」って分かっていますけど、そうした時にこの問題が出るし、当日になると8時の時に乗りましたよってここにどう通じて支援員が「今日15人の予定です。」じゃあ乗らなかったよ。となると人数把握もそうですけど、そういう危機管理の面からも把握しきれないということがあるかなと思います。
- 〇〇委員：平日の放課後だったらこの設問3の平日の場合だったら当日もしちょっと親が体調悪いとかなんか預けたかった場合の子どもたち、そういった場合もダメなんですね、当日だとやっぱり。
- 萩 原：そうですね、ちょっとそこは検討させてもらう必要があるかなと思います。やっぱり受入体制と先ほどの「乗車した・しない」、このちょっと確認方法があるので。
- 〇〇委員：その当日のバスは運行するかどうかだと思います。1人しか乗らないのに本当に教育委員会で運行して、もう常時バスは来ているんだよ。今、児童クラブで当日の受け入れを「どうしても」の時、対応出来てるのは、メールで今日は「どうしても」というのが来るんですね。そういった時は他の子どもたちもあるんですけど、そのバスが運用となるとまた状況が違うのかなと思います。
(少し時間をおいて) もう1つは、バスを利用しなくても例えばお仕事が仁科なので送り迎えはお家でするって方も出て来るかも知れないと思います。
- 〇〇委員：仕事をしているから、児童クラブに預ける。
- 〇〇委員：だからその保護者の考え方で、仕事が仁科なので8時から受け入れてるので8時半からの勤務だったら自分で送って行けるよ、その方が自分も楽だったり。今まで賀茂とかから来ている人たちは送り迎えが頼めそうだったのでね。帰りも5時半まで見ているので迎えに行って、、、そういう人も出て来るかもしれないと思う。必ずしもバスでなければならないということではない。
- 〇〇委員：ごめんなさい、じゃあ私が理解していない。スクールバス以外で行く子もダメってことですね。
- 〇〇委員：今、確認したのがダメとは言えないかも、、、という話です。
- 〇〇委員：路線バス、別にそこには付き添いなしで利用して良いということですね。路線バスで行くなら、平日。
- 〇〇委員：私が言ったのは長期休暇の時だから、保護者の方がお仕事で対応出来るので自分で送り迎えを出来るよってという人も出て来ると思って。

- 〇〇委員：私は設問3の平日の対応についてお伺いしたかったんですけど。検討ということでもよろしいですか。
- 萩 原：もう一度よろしいですか。
- 〇〇委員：検討ということですよ、問3。
- 萩 原：問3はちょっと未回答の欄に記載があるんですけども、通常のスクールバスの運行のダイヤを組むと1年生～3年生までの送りだったら出来るかなという。
- 朝 倉：放課後学習がその学年によって時間が組んであるみたいなんです。たぶん、それを統合後の賀茂小学校も同じようにやるとなると4年生以上はその時には放課後学習に参加しているパターンがあるので、そこが行けなくなっちゃうよね、という話をしています。今、実際的にどれだけ放課後学習に参加する人が居るのか、というのを賀茂小の方で把握するように準備しています。日によって、放課後学習も毎日放課後学習に参加しますではなくて、何曜日は塾があるからとかというのが出て来ると思います。そこによって、これ1人のためにマイクロを出すかっていう先ほどの議論になって来るパターンもあるので、ちょっとここについてはそちらの取りまとめの状況でどういうふうに行くとかというのを考えさせていただきたいというのがあります。
- 〇〇委員：でも、今後利用したいという回答をした伊豆海の方は1年～3年生まで対象者になるわけですね。
- 萩 原：そうですね。
- 町 長：ただですね、パターンのというと伊豆海の方は賀茂小の今のそういう放課後学習をやっていることを御存知ない可能性もあるわけですよ。
- 〇〇委員：なんか田子小も同じような放課後学習があり、16時半まで学校で学習が出来るというのをこの場でお伺いしたんですけど。
- 町 長：回答されている方です。〇〇さんではなくて。回答されている方みんなが放課後学習があることを認識していないと「あれば良いよね。」なんだけど、15時半とか16時まで学校で放課後学習があって帰って来たら、そこからスクールバスでこっちに来るとそれで30分かかって30分しか居ないために行かないよねっていうケースになる可能性もある。
- 〇〇委員：すいません、それをさきに事前に知らせてから回答の方が良かったということですか。
- 町 長：ただ、あくまでもこれは「放課後児童クラブを利用しますか・しませんか」ということなので、そこは小学校のもしかしたら放課後学習をやらなくても知れない。
- 〇〇委員：あー
- 町 長：ある意味、うちの子のパターンで行くと放課後学習もものによっては行きたくないがあるんですよ。

■〇〇委員：あー、そうなのか

■町 長：「コードモンキーだったらいいけど何とかだったら僕はいい。」とか。そうするとその曜日は欠けるんですね。全部行ってくれば親は 16 時ぐらいに帰って来ると分かるんですけど。

■〇〇委員：分かりました。

■会 長：ちょっと言いにくいかな、設問 3 のところが入ってますので。

■萩 原：今のところ、そのスクールバスで運行するに当たって出来る範囲とこの利用者の回答をもって事務局が本当に対応出来るかなと思ってお示ししているのがごめんなさい、設問 1 の部分で朝 8 時発の 17 時仁科からの帰りですね。その部分はやっていいんじゃないとかっていうところはちょっとお聞き出来れば嬉しいなど。これじゃやる必要ないんじゃないって思う方も中には居るかも知れませんが、18 人 33%じゃ少ないからいいんじゃないって意見がひょっとしたらあるかも知れないのでその辺の御意見は伺えればなと思います。

■〇〇委員：そこはやってほしいかな

■会 長：設問 3 は少しね、ちょっと別にしてその設問 1 の黄色くなってる利用する 33%の宇久須 8 時、そして仁科 17 時発ということについて御意見の方をいただきたいんですけど如何でしょうか。これについては良さそうでしょうか。

■〇〇委員：はい

■会 長：ここの部分だけじゃあ決を採らせていただいていいですか。

■萩 原：はい。お願いします。

■会 長：その設問 1 にある夏休み長期休業等ですね、その時に宇久須そして仁科がその時間のそれぞれの発ということの提案については賛成いただける方は挙手の方をお願いいたします。(10 人全員挙手) ありがとうございます。では、この設問 1 のところの対応については賛成ということでもよろしくをお願いいたします。

設問 3 につきましてはどうでしょうか。

■朝 倉：これはちょっと、先ほど申し上げた放課後学習の参加者の関係とかもあるんで、それをもってちょっともう一回再検討させてください。

■会 長：この会の中では決は採れませんけれども、再検討という格好で止めさせていただいてよろしいでしょうか。今のうちに御意見等ありましたら、先ほど出していただきましたけれども、このことも伝えておきたいということがありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。では、次の方へ進めさせてください。

議題(2)「第 3 期子ども・子育て支援事業計画について」事務局から説明の方をお願いいたします。

■萩 原：「第 3 期子ども・子育て支援事業計画について」説明させていただきます

す。第2回の会議で前回計画策定時の就学前児童、小学生向けのニーズ調査表をお配りさせていただいておりますが、先日国からモデル調査表が示されましたので皆様に第3期計画策定にあたるニーズ調査表を「就学前児童用」と「小学生用」の2種類でお配りさせていただきました。資料の方はお手元の右上に2-1と記載がありまして、左上には「就学前児童用」。資料2-2については左上に「小学生用」の調査表としております。こちらで西伊豆町の子育て支援に関する利用状況とかどういのがあったらいいよとかということ、家族構成だとかどういの方が日頃お子さまを見ているかとかという調査を把握して最終的に令和7年度から5年計画の11年度までの計画を作って行きたいというものになります。調査票の中身ですが、ちょっと細かく説明させていただくとだいぶ時間がかかりますので、大枠の方になるんですけども資料2-1の「就学前児童用」のものになります。調査は2ページから始まっております。住まいの地区、子どもと家族の状況、3、4ページは保護者父・母の就労状況について、5、6ページは平日の定期的な教育・保育事業の利用状況、ここでいう教育・保育というのが就学前ですので幼稚園と保育園を使っている状況の確認。7ページについては地域子育て支援拠点事業の利用状況ということで、子育て支援センターたんぼぼを使っているかどうかということになります。8ページについてはお子さんが病気の際にどのような対応をされているか。お父さん、お母さんどちらかが有休を取って看病してるよとか、親族と一緒にやってくれるよとかっていうかたちになります。9、10ページは不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり、ここでいうのは一時預かりの利用状況についてというものになっています。11、12ページはお子さんが5歳以上である方に小学校に入った後の放課後をどういふうに過ごす予定でいますかというような伺いをするものになっています。13から14ページは子育てに関する一般的な事項ということで町の施策の満足度とか課題点みたいなものをちょっとお聞きするようなものになっていて、最終で自由意見を述べてもらうようなものになっております。

続いて資料2-2の「小学生用」の調査表になります。こちらも調査は2ページからで住まいの地区、子どもと家族の状況、3、4ページは保護者の就労状況、5ページは地域の子育て支援事業の知っているか知らないかとかの状況や利用状況、お子さんの宿泊を伴う預け先の状況についてなんていうのもあります。6ページはお子さんの病気の際の対応、7、8ページは放課後の過ごし方、9から11ページは子育てに関する一般的な事項について、最終で自由意見を記載していただくようなものとなっております。

調査表の配布ですが、この2月末ごろに配布をして3月の中旬ごろに

回収したいと思っております。今後7月、8月ぐらいまでの予定ですが、資料で横の1つワンペーパーになりますけれども右上に資料2-4と書いてある資料がスケジュール感のお知らせになっております。事務局としては、本日この場でニーズ調査どういうものを作ったら良いか、今、提示させてもらっているのが国の方でモデルの調査表というのが示されてまして、「これは聞いてくださいよ。」というような調査項目を今、入れているものをお示しさせていただいております。それに皆様の方から、これ、入れた方が良くないんじゃないのという意見をちょっとお伺い出来ればと思っておりますのでよろしくお願い致します。

■会 長：はい、ありがとうございます。ただ今、事務局の方から説明がありました。現時点で御質問、御意見がある方は挙手をお願いいたします。

■〇〇委員：小学校向けのやつに問11、8ページの所の小学校高学年の放課後の時間にどのような場所で過ごしますか、過ごしたいと思いませんかみたいなことを書いてあるんですけど、そもそも小学生も中学生もそうですけど外で遊ぶ場所って無いじゃないですか。小学校しか遊ぶ場所が、どこに遊びに行くって言ったら小学校とか大浜公園とか安城公園とか、もうだいたい行く所って決まっています、じゃあ、その下のところにどういった施設があったらどういうことをして子どもたちに遊ばせたいですかとか、どういう施設があるとありがたいですかとかっていう質問を入れることは出来ないんですか。遊ぶところが少なすぎて、結局小学校で遊ぶ以外何して遊ぶのって話になってスポーツが出来る場所があるわけでもなく、ゴールがあるわけでもなく、バスケットリングがあるわけでもない。じゃあ、何かお母さんたちとか保護者の方に何か子どもたちを遊ばせるために何か必要なことはありますかというのを聞いてもいいんじゃないかなと思うんですけどどうでしょうか。

■萩 原：小学校の8ページの問11の話でよろしいですかね。ここがどのように過ごしていますかと過ごさせたいと思いませんかという記載になっている、その他というところがありますよね、そこでこういうのが例えば、そこで週何日ぐらい利用したいとかって書いてもらうのもありなのかとは思いますが、ちょっとニュアンス違いますかね。

■〇〇委員：どういう施設が欲しいとか、どういう遊び場が欲しいとかあげていいのかな。その他に○を付けて、じゃあ何日、何をどうさせたいのかってことは具体的に分からないじゃないですか。

■朝 倉：()の中に自由記載していただければ良いです。

■〇〇委員：でも小さいよ。

■萩 原：もしくは調査表の最後に問17がありまして。

■〇〇委員：でもなんか、ありがたくそうやって言葉書いておいてもらった方が書きやすくないですか。現に子ども達は遊ぶ場所が無くてどうしようって毎

日悩んでいるのが現実で可哀想過ぎる。

■見山研究員：今、お手元にお配りさせていただいている資料 2-1 と 2-2 については、先ほど事務局さんからも説明があったように国のモデル調査表でこれ絶対聞きなさいねっていう設問にはなってるんですね。この選択肢もあんまり自由度が効かなくて、なんでそうなのかっていうとこれに対する回答の結果を別の計算シートに全部入力をして、このサービスの需要はこれぐらいありますよというのを 1 つ 1 つ出して行くので、そのなかなかこう自由度が効かないっていうアンケートになってます。なので、皆さんに御検討いただきたいのは、これに例えばこういう設問を追加したらどうかっていうような、これだけじゃあ町の現状把握にちょっと足りないんじゃないっていうような、そういうことで意見をいただきたいというところで今日の意見を伺っているところなんですけど、実際問題として、他に先行してアンケートを検討されている団体さんでいうと例えば、「公園について」みたいなカテゴリを作って公園でどんな遊びをしていますかとか、どういう遊具があったら良いですかとかそういうことを聞いたりするというのは実際あります。ですので、ちょっとこの設問に絡めてというよりはそういう需要の把握が必要だということであれば、そういう設問を別途ですね、最後の方に差し込んで行くということは可能かなと思います。以上です。

■〇〇委員：全部把握してないので、どういう設問とか分かってないところもあるかも知れませんが。今、〇〇さんが言ったことについては問 17 のところの教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関しての御意見があったらっていうところにも記載出来るのかなっていうことと、もう 1 つはこの 2 期も岐路としてやってありますけど、さっきの保護者からのこの御意見を町が教育委員会がどういうふうに活かして行くかということも内容如何にもよるのかなとは思いますが。〇〇さんの言ってることはここでも町には伝えるというかそういうのも出来るのかなと思います。

■会 長：〇〇さんの御意見は、今のこの例えばの話で 8 ページのその他だとちょっとなんか書きにくいというか、そういうことを書いて良いのかどうか分からないと。その問 17 の最後のところだと漠然としていて、本当はこういう希望がこんなことが例えば、なんとかバスケットコートを作りたいよとか、こういう施設があるといいなとか。出来る出来ないは別としてね、こういうところで子どもを遊ばせてあげたいなというニーズを吸い上げるには、なんか設問を少し補足するなり追加して欲しいということよろしいでしょうか。

■〇〇委員：はい、そうです。

■会 長：そういう対応の方は可能でしょうか。

- 見山研究員：大丈夫です。
- 萩原：はい。
- 会長：どこかにそういう、答えやすい住民のニーズを吸い上げるような設問を入れていただけるということでお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
- 見山研究員：ちなみに自由意見だと答えづらい感じですかね。例えば、選択肢を用意するってなった時にいくつか選択肢を用意して、そこに新しいその屋内公園みたいなものとかが選択肢にあったとしたら、そこに沢山の方が回答されましたっていうような傾向は選択肢にすれば出すことは出来るんですけど、ただあくまでも用意された選択肢に対する傾向になっちゃうんですね。なのでそこに選択肢にないものについての意見というのが出しにくい感じにはなるんですよね。なので自由意見というのは、ちょっと書きづらいと言えば書きづらいんですけど、自由な発想が町としても意見を取り入れられるっていうところはメリットとしてあって、どっちが答えやすいでしょうかね。
- 〇〇委員：確かに自由意見ってやって書いてもらった方が良いかも知れないですけど、じゃあ例えばみたいな欄で例えば施設とか、もしなんか利用、子どもたちが遊べる場所があったらどういうところが良いですかとか、どういう感じが良いですかみたいな「例えば」みたいな。例えを例えば何個か上げてもらって自由にお書きくださいみたいな感じの方がこういうことを書けばいいんだって。ただ自由にお書きくださいだと。
- 萩原：最後の設問 17 に例えばの今おっしゃっていただいたようなことを入れるというのも有りということですか。
- 〇〇委員：けど、もっと書くとしたら幅（行）は広げますよね。
- 萩原：もっと増やすということですか。ああ、それはハイ。
- 町長：ちなみにですけど、ちょっと〇〇さん聞いていいですか。どんなものを求めていますか。ゲームセンターとか求めています？
- 〇〇委員：ん？
- 町長：ゲームセンターとか求めています？
- 〇〇委員：いやいやいやいや。
- 町長：そういうのを書かれるとそれを行政、ゲームセンターは手を突っ込めないのっていう話になるので、それをアンケートに書かれちゃうとうちはノータッチですとやんなきゃいけないんですよ。
- 〇〇委員：屋外スポーツとか。
- 萩原：たぶん、そのスポーツの中にもスポーツって言ったらもの凄い競技数があるじゃないですか。
- 〇〇委員：そんなこと言ったらだって、私が決められない。
- 町長：でも結局、こっち側はそのニーズが無いと対応は出来ないんですよ。

ただスポーツ、だったら体育館を開放で終わりですねってなっちゃうと。

- 〇〇委員：じゃあ、例えば今、部活であげてるテニスコート、打ちっぱなしが出来るとかバスケットリングがあるとか、なんかコンクリートのところが少ないじゃないですか、あんなに色々あるのに。その打ちっぱなしが出来るとか野球の練習が出来るとかサッカーの書いてあるやつがコートがあるとか、一般的な感じの。だって体育館はじゃあ仮にですけど中学生だけとか小学生だけで開放して欲しいって言ったら、それは可能なんですか。何時から何時まで。
- 町長：ですから、それを意見が出て来ないと町は対応出来ないんで、そういうのを「その他」で書いてくれればということになる。
- 〇〇委員：じゃあ、それに例えばを入れたらいいじゃないですか。体育館利用したいけどみたいな。
- 萩原：それは自由意見の欄なのでそこで書いてもらえればいいかなと思ってるんで、そのための自由意見です。
- 〇〇委員：それは分かってますけど。
- 山本園長：うちは遊び場所が、田子なんですけれど中学生だから去年までは小学校6年生で帰って来たら自分たちで遊ぶところを見つけて遊びに行っていたので、1つそれも有りかなと。例えば、うちはもう大田子の学校帰って来てから海水浴行ったり、それから中学になったからは旧田子中のグラウンドだったりボール1つ持ってって一緒に遊んだり野球したり、それこそバレーしたりやっているんで、なんか決めちゃうと学年もそれぞれなので。
- 〇〇委員：色々遊ぶ場所があればいいかなって、ここ行けるとかあそこ行けるとか。今、結局児童クラブが放課後じゃあ外で小学校で遊んでますって時に中学校がちょっと早帰りとかになった場合、中学生が体育館の前で遊んだりとかそういうのもあるし。今、小学校の隣りの元中学校の所に車を停めて、その中学校があった所のちょっとした場所で野球とかやっているんですよ。それをもうちょっと上手く、それを使ってOK だったらその広い所を仁科の。あの後ろの部分、元中学校だった部分あそこを野球で今、小学校と中学生が一緒になって使っているんだかどうかわかんないですけど結構遊んだりして、ね、居るんですけど。そういうところを利用出来たらいいなと思って。勿体ない、そんな広い場所があるのに。それとか色んなところにこういう遊ぶ場所があるよ、みたいなのを小学生とか中学生がもっと知っとけば、わざわざ小学校にみんなばあーって集まなくても。安城だって閉まっちゃうじゃないですか、5時とかになっちゃうたら。そういう遊ぶ場がもうちょっとこういうところにありますよみたいなのが。
- 〇〇委員：よく分かんなくなってきたのが〇〇さんが求めているのは遊び場所を町

に作って欲しいがために、

■〇〇委員：そうそう。

■〇〇委員：このその他のところでは施設が少なすぎるからっていうことを入れたかったのかなって最初受けたんですけど、今の話を聞くとアンケートというよりも色んな場所があるよってことを知りたいって・・・。

■〇〇委員：違う、違う、違う、違う。遊び場所が作って欲しいって、なんて言えばいいですか。

■〇〇委員：だから作って欲しいってことは遊び場所が無いのでっていうことだったんでしょ。

■〇〇委員：そうそう。

■〇〇委員：やっぱり自由意見で全然対応出来るんじゃないんですか。

■〇〇委員：だからそういう話だったじゃないですか。だから、その自由っていうのを作ってその例えばみたいなのを入れてやるっていう、そしたら町長がじゃあ、どういのがいいですかっていう話でしたよね。そのゲームがやるとちょっとみたいなの。だから、どういう遊びしたらどういのがいいんですかっていうから、じゃあテニスの打ちっぱなしが出来るところとかバスケとかっていう話をしたところですよ。そういうことじゃなくて。

■萩原：では、こちらとしては設問のその自由意見のところ例文を入れてお示しすればってことですよ。

■〇〇委員：いいと思います。それで皆さんが書ければ。

■会長：自由意見ですからお答え方は例えば具体的に、例えばテニスが出来るところが欲しいと書く方も居れば、例えば子どもたちが大勢集まって例えばボールで遊べるような場所を確保して欲しいとかたくさんあると思います。それが町のニーズが町の役場の方に伝わるといのかたちでは良いかと思しますので、その17の設問の中に例を入れながら意見を吸いやすいようにするといのかたちでよろしいでしょうか。じゃあ、そのようにまた対応の方をお願いいたします。

■萩原：はい、ありがとうございます。

■会長：資料の方が少し多いのでなかなか今すぐというのも苦しいですので、少し時間を取って資料の方に目を通させていただければと思います。5分ぐらいでちょっと短いかも知れないけど、ひとまず5分ぐらいでよろしいでしょうか。ちょっとそれぞれのニーズ調査について目を通していただければと思います。その後また、御意見の方をいただきたいと思いません。(5分経過)

一応設定した5分ですけどよろしいでしょうか。事務局から説明の最後の方にありましたけども、こんな理由でこんな調査したらいいんじゃないかとかそういう要望、意見とかがありましたらここで決を採ることじゃないんですけども、こういうのを入れたらどうなのかという意見の

集約の方して行きたいと思います。「こういうのがあればどうかな。」「ここをこうしたらいいんじゃないかな。」御意見ありましたらお願いいたします。その際に資料の 2-1、2-2 と 2 つ種類ありますので、例えば就学前だったら資料 2-1 の設問○とか、小学校の子ですと資料 2-2 の設問○のことと。もしくは追加するならばそれぞれについて、就学前の子と小学校の方でこんなこと入れたらどうかなということ種別が分かるようにいただければありがたいです。如何でしょうか。(3分経過)

如何でしょうか、よろしいですか。もし後から意見とか出たら・・・。

■朝 倉：いいですか。ちょっと私の方からいいですか。前回の会議で前回の計画の策定の時のアンケートを配っているんですけど、その時とちょっと若干項目が減っているんですよ。まず1つ目のお住まいの地域について伺っている中で、ここ問4つ設問があるんですけど前回はこの下に問5として、お子さんの子育てを主に行っているのはどなたが行っているかというような設問があるんですよ。そういったものも追加した方が良いとかですね、そういった意見があればまた、今日お持ちじゃないようでしたら家に帰ってそれを見ていただければと思います。またその次に、今回のものですと3ページの保護者の就労状況に飛んでいるわけですが、前回ですとその前に子どもの育ちをめぐる環境について伺いますということで、日ごろ日常的にどなたがお子さんに関わっているかとかそういった設問が前回は入っています。なのでそういったものも取ってしまって良いものなのか、こういうことを聞くことによってこういう分析が出来るんじゃないかとかってということもあろうかと思しますので、その辺の意見もまたお伺い出来ればありがたいなというふうに思います。

未就園児・未就学児童用については今回また省かれているんですけども、土日とか長期休暇中の保育事業の利用希望とかについても伺っています。どれぐらいのその土曜日に預けたいよ、とかっていうニーズを把握するにはそういった項目というのも1つ入れておいた方が良いのではないかというのもちょっと私的には思いましたので、その辺の意見も伺えると助かるなと思いますので、前回の資料と見比べていただいて、「ここちょっと足りないんじゃないか。」ってことがあれば、また教育委員会の方にお申し付けいただければと思いますのでよろしく願いします。

■会 長：結構まだ時間もかかるとしますので、後日、今の出していただいたこと、それとあと今日資料で出させていただいたものについては後から、これも入れてあげようということは後から説明有りますよね。また後でも事務局の方に意見吸い上げる機会があるということですので、それでまたお願いが出来ればと思います。

では、次に進めさせていただければと思います。

■萩 原：その前にちょっとよろしいですか。今、そういった話になっている中で参考になんですけれども、前回の就学前のニーズ調査表のページ数が22ページありました。現在案のページ数が15ページまで減らしてありまして、というのがアンケートというのが長いと選択制にしても面倒だなんていうふうに考える人もありまして、良いことなのか悪いことなのかってあると思うんですけれども、そういったところも含めて追加の設問なのか、以前に取った設問としてまたこういう理由があるから取った方がいいんじゃないかっていうのを教えていただければなと思います。今のは就学前で、小学校の方は今、11ページで作ってあって前回は11ページなので、これぐらいが答えやすいところにはなって来るかなと思います。調査表の配布方法なんですけれども、前は就学前の部分については施設から直接配布、もしくは郵送配布。例えば、こども園に来ている方には直接配布してもらおうとか、支援センターを利用している人にはそこからとか。まったくそういうのが無い方には郵送で配るとか。回収についても今、申し上げたところで回収して行く、郵送で回収するというようなやり方を就学前には想定してしまっていて、小学校の方は学校様を通じて配布してそちらで提出してもらおうようなイメージであります。前回の状況なんですけれども、就学前の配布数がだいたい160、回収数が140部程度。回収率が85~6%ぐらいありました。小学校については180程度配布して170ぐらいの回収となっておりまして96%とかっていうことで、回収率を上げればそれだけ町の方の子育て支援の計画に紐付けやすいかということなので、そういった方法で回収率を高めながらやって行きたいと思っております。

■町 長：すいません、1個いいですか。さっき、〇〇さんからどういうのとかというのがあったので、西伊豆町のホームページを調べてみました。ちょっと西伊豆町のホームページ上だと過去のその計画のデータが無くて東伊豆町の方であったので1個紹介させてもらおうんですけど、「子育て支援でもっと力を入れて欲しいもの」という項目があって「子どもが安心して遊べる場所が欲しい。」ということとか、「親子が安心して集まれる身近な場や機会が欲しい。」「子育てに困った時に相談にのったり情報が得られる場を充実して欲しい。」「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい。」「育児休業、介護休業の取得促進などを企業に対して働きかけて欲しい。」「再就職についての支援を充実して欲しい。」「子育てサークルの支援をして欲しい。」「公園や歩道の整備をして欲しい。」「児童手当の経済的支援を充実して欲しい。」「家事支援サービスを充実して欲しい。」とかっていうのが子育て支援にもっと入れて欲しいものっていうくくりの中にあって、こういったものにチェックを掛けられる状態になってたと思うんです。あくまでも東伊豆のやつです。

もしかすると西伊豆町もそれを過去にやってる可能性があります。今、萩原が言ったみたいに今回20何ページのやつを答えやすいように15に絞って、そういったアンケートはたぶん抜いている可能性もあるので、もしあれだったら過去にたぶん2回ぐらい今回3回目なんで、2回計画が作られているんで一応その計画がもし部数があれば皆さんにお配りをして、過去にこういうたぶん答えが出てるということは設問してまずよねと、これ次も必要なのでこの部分が今回この案件の中身からはたぶん無いんじゃないかっていうふうに思うんで載せたらどうかっていうことを11日までに聞いたりとかした方が皆さんの方で設問を考えてくださいとやってやるよりはやりやすいのかなっていうふうに今、思ったもので、もし皆さんお手間でなければ、うちの方に資料があるのか確認をして改めて届けて、このFAXをしてください、メールをしてくださいじゃなくて、昔の何年の時のやつのこういうやつを載せたらどうみたいなのを言ってもらった方がいいのかなというふうにちょっと思ったもので。どうですかね、そんな感じで。一応、今僕が読み上げたのは東伊豆町さんの計画だったんですけど、たぶんどこも大体5年ごとに同じようなところの業者さんに入ってもらって設問は考えているはずなので。これ、たぶん委員さんも変わられているんで過去資料はたぶんお持ちではないと思うんで。

■萩原：第2期のアンケート調査は皆さんにお配りしておりますので、もしない方は今日予備を持って来ていますのでお渡しさせていただきます。第1期のアンケートについては確認をして、あるようでしたらまた皆さんの方にお送りさせていただきたいなと思います。

■〇〇委員：これは必須の設問があって、そもそもこれ大元を見るのは大変なんではないか。

■見山研究員：大元というのは国の調査表ということ？

■〇〇委員：そうです。

■見山研究員：国の調査表はホームページとかでも公開されているんですけど、色分けがしてあってこの項目は必須項目ですみたいな、青色が付いてるところは必須項目です。赤色が付いてるところは第2期の計画策定にあたって新規で追加された項目ですみたいな感じで色分けをしてあるんですけど、その中に色が付いてないものは必須ではない。必須じゃないものは今回はとりあえず一旦省かせていただいて、回答者の負担をなるべく軽減するというのを目的に一旦省かせていただきました。ただ、それに対してやっぱり必要だよねというのは当然入れて行かなきゃいけないので、最低限のものに対して何を追加して行きましょうかっていうことを考えた方が効率的というか、回答者の負担も考えつつ入れることになるので最終的には良い調査になるんじゃないのかなっていう感じで、

ちょっと今回御提案させていただいております。ただ、その国の調査表に入っているもので今回省かれちゃっているものをまた入れ直すってこと以外にも西伊豆町として第2期計画の時にこれを聞いていたんですけども今回はこれを聞かないのっていうのも今回入れることももちろん出来ますので、そういったところも含めてちょっと検討いただくと助かりますということで、今ちょっと第2期のアンケート調査表も見てみたんですけどちょっと東伊豆町さんのような聞き方の設問がちょっと入ってなさそうでしたので。

■町長：東、27年なのでたぶんそのもう1個前になるかと。

■見山研究員：なるほど。実はこれ、お配りしている資料2-1と2-2については最後の方に子育てに関する一般的な事項について伺いますというのが、それぞれ両方のアンケートに同じようなかたちで入っているんですけど、実はここは必須ではなくて私の方で西伊豆町さんの方で前回のアンケートでも聞いていて、これは抜かない方が良いついていうものを残したんですよ。残した上でまだ15ページとかにしかまだ到達してないので24ページとかってなると相当大変なアンケートになるので、せいぜい20ページぐらいには収めたいなという研究員側としては思っているんですけど、それに対してもまだ5ページの余裕があるっていう状況ではあるので必要な項目は5年に1回のアンケートなので折角なので聞かせていただきたい。因みに前回このアンケート答えましたって方いらっしゃいますか。

■〇〇委員：わからない

■見山研究員：これ実は前回アンケートをちゃんと答えようとする恐らく20分から30分は掛ります。お子さんが小学生と未就学児それぞれ居たらそれぞれ20分30分のアンケートを答えていただくってかなり大変なんだと思うんですね。ですので、なるべく回答者の負担を軽減しながらも折角5年に1回やらしていただくアンケートなので、ぜひ皆様御意見を少しでも吸い上げて行きたいっていうことでぎゅっと圧縮した上に前回これを聞いてるから今回は今回も入れた方が良いついていうのがあったらぜひ御意見をいただければということで今回ちょっと御説明をさせていただいたところです。

■会長：はい、ありがとうございます。会議が始まってちょうど1時間10分ぐらい過ぎたかなと思います。今、設問数の問題もあるかも知れませんが前回の提案したものから少し削ったものもあるということです。それと比較をしながら「これは残した方がいいんじゃないか。」というのがあるかも知れません。「あっ、これ抜けちゃったの。これが欲しかったな。」という意見もあるかと思っておりますので、また御自宅に戻られまして比較をしながら「あっ、ここ抜いた。これは抜いてもいいよね。」と

かあるかも知れませんが、そういうところも見比べながら検討していただければと思います。その他、それを見てまた御意見の方なんですけれども今日資料の後ろから2枚目になるでしょうか、資料の2-3ということで記述するようなものが入ってるかと思います。資料の2-3です。たぶん今日の後ろから2枚目ぐらいになるかと思います。その他の意見についてはその資料2-3 ニーズ調査設問書で。事務局の方へ提出をお願い出来ればと思います。この提案書について事務局から説明の方をお願いいたします。

■萩 原：皆さんのお手元の資料の方で1つだけ穴が開いていない資料になってまして、右上に資料2-3でニーズ調査設問提案書というものをお配りしておりますが、こちらの方に今、お話をさせていただきました通り設問としてプラスした方が良いものを小学校、就学前児童用どちらかで区分をしていただいて、内容ですね。設問はこの位置に入れた方がいいんじゃないかっていうのをお示ししていただいて、それを入れた方が良い理由は何なのかっていうのを書いた上で、期間が短くて申し訳ないんですけども、学校様とかこども園が稼働中に直接渡して回収もしたいので来週の三連休明けまでにFAXもしくはメールの方でいただければなと思っております。御意見の方は。

■町 長：これって教育委員会のLINEとあって無いの？

■萩 原：教育委員会のLINE・・・

■町 長：申し訳ないけど、メールアドレスぶち込んで送るのも面倒くさいし、FAXなんか今は無いんだからさ。写メパチって撮ってこれで入れてくださいますとかは出来ないのかね。

■〇〇委員：グループLINE作れば良いじゃないですか。

■山本園長：園に持って来てください。

■〇〇委員：ない場合は書かなくても良い？

■山本園長：いいです。窓口がありますから。

■〇〇委員：小学校は小学校で良いですか、じゃあ。

■町 長：小学校はね、管轄が違うので園は役場が運営しているんですけど、ちょっとそこは申し訳ない。

■朝 倉：役場の窓口にしてもらえば。

■町 長：役場に持って来てもらえば。

■齋藤園長：〇〇さん、園でも良いですよ。

■〇〇委員：質問なんですけど、さっきの例えばお子さんが病気の際の対応について伺います、の小学校の6ページのところにファミリーサポートセンターを利用したとあって書いてあるところあるじゃないですか、それってアンケート付ける時にそのなんかこの「ファミリーサポートセンターとは」みたいな説明って付けるんですか。

- 萩 原：ごめんなさい、ここそもそも無いのでそこはちょっと削るようになってちやうかなと思います、こちらが。実際アンケートをとる時に。
- 朝 倉：ファミリーサポートセンター自体が今、無いじゃないですか。
- 〇〇委員：でも入っているから、あっ入っているんだって思って見てた。
じゃあ、無しなんですね。
- 朝 倉：結局、基本ベースが国のものでやっているからそうなっています。
- 萩 原：すいません、そこまでちょっと時間上用意が出来なくて申し訳なかったですけど。
- 〇〇委員：無いものは希望出来ないってことですよね。
- 町 長：逆に希望するので「その他」の記述で書いてもらえれば、全員書いてもらえれば前回もそのニュアンスで伺っているんで十二分に承知はしておりますが。
- 会 長：ちようど今、質問の方がありましたけども提案書か、書いてまた、あっごめんなさい、意見があれば出していただくわけですがこちらについてちょっと聞いておきたいこととかありますでしょうか。内容これでよろしいですか、伝わりますか。大丈夫そうですね、はい、ありがとうございます。
- では次に進めます。次第の方は「その他」ということで残っております。その他、委員の方から何か御意見が、資料等ありませんけど委員の方から御意見の方、ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。では、次回開催等事務局の方からお願いいたします。
- 萩 原：次回のこの会議ですが年度が変わりまして、6月27日の木曜日13時半からこちらの会場で開催させていただきたいと思っております。次回の議題について御意見ありましたら事前に教育委員会の方にお知らせしていただければと思いますのでお願いいたします。
- 会 長：はい、ありがとうございます。議題は以上になります。御協力の方ありがとうございます。事務局の方へお返しいたします。
- 朝 倉：長時間わたり御審議ありがとうございました。色々と持ち帰っていただいて、折角の機会ですから色んなご意見をあげていただければと思います。よろしくお願いいたします。会長につきましては、議事進行ありがとうございました。これで令和5年度の第3回子ども・子育て会議を終了いたします。お疲れさまでした、ありがとうございました。

以上、議題終了